

経馬

3人制バスケットを体験

城山地区児童ら参加

宇都宮



3人制バスケットボール「3x3」の体験教室を開いた。城山地区児童ら参加

【宇都宮】城山地区を拠点に活動する地域スポーツクラブ「ジョイスポしるやま」（大柿清会長）は19日夜、城山中体育館で3人制バスケットボール「3x3」の体験教室を開いた。3（スリー）エックススリー（3x3）の体験教室を開いた。会員の小学生など33人が参加した。県バスケットボール協会の講師を招き、学級の別に分かれ、ボールの扱い方や3x3のルールを教わった。

経験者チームによるデモンストレーションゲームを全員で見学した後、プロの大会でも試合の間に行う「フリースローチャレンジ」を開催。仲間たちと決まったシュート本数を数えるなど、児童らは終始楽しんでる様子だった。フリースローチャレンジで同率1位となる5人中4



加藤さ

（79）は「計量スプーンの見方から教えなくてはならず、どうなるかと思った」

本を決め、景品の3x3専用ボールを受け取った明保小2年小野友晴君（8）は「楽しかった。ボールは遊ぶ時に使っていきたい」と話していた。（稲葉雄大）

地元「板荷茶」に舌鼓

鹿沼・まつりでPR



板荷茶を試飲する来場客

【鹿沼】市茶振興連絡協議会は22日、まちの駅新・鹿沼宿で市内産の「板荷茶」をPRする「鹿沼産新茶まつり」を開いた。来場

者は新茶を味わった。新茶2種類が販売されたほか、試飲会、アンケート回答者への新茶のプレゼントが行われた。板荷茶

参加者は、同会が育てたサナギ約50匹、成虫約80匹が放たれた約100平方メートルのネットハウスで、自由に観察した。子どもたちは「きれい」「大きい」など歓声を上げていた。壬生小3年大矢遥斗君（8）は「虫が好き。大きくて、かわかった」

壬生

と満足そうだった。観察会は、子どもたちに昆虫と触れ合う機会を与え、豊かな感性を育むことが目的。県生物多様性アドバイザーも務める大島会長（72）は「命の大切



オオムス連れ

を購入した上殿町、主婦清水陽子さん（70）は「いつも家で飲んでいました」と笑顔を見せた。同協議会の小池正昭会長（83）は「板荷茶は飲めば飲むほどおいしい

を。今年も良い出来です」と話していた。「板荷茶」は市の名産品「かめまブランド」に認定されており、板荷地区を中

【真岡】市地域おこし協力隊の小平知佳さん（25）はこのほど、八木岡の「真岡珈琲舎ソワカフェ」（蒲谷英和代表）とコラボし、市のキャラクター「もおかぴん」や「コットベリー」をあしらったコーヒーバッグを開発した。キャラクターの定着を狙う小平さんと、市をPRできる新商品の開発を考えていた蒲谷さんの考えが一致して実現した。名産のイチゴと一

ゆるキャラコーヒーに

緒に味わえるよう、あっさりとした風味に仕上がっているという。小平さんは「キャラクターが地元根付くきっかけになればいい。市外へのお土産にもしてほしい」と話した。コーヒーバッグは1袋12袋で、2袋入り300円（税込み）。荒町の久保記念観光文化交流館内の観光物産館やソワカフ

真岡